

令和 5 年第 1 回定例会一般質問

4 番 佐藤 昭生 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 子ども子育て支援について	<p>子ども子育て支援について伺います。</p> <p>① 本市は、市内の幼稚園児、小学校児童、中学校生徒を対象に、令和 4 年 7 月から本年 3 月までの 9 ヶ月間、保護者が負担する給食費の支援を行ってきました。物価高騰等に直面する保護者の負担軽減を図った手厚い支援でありました。令和 5 年度になってこの支援がゼロになってはならないと思いますが、考えを伺います。</p> <p>② 令和 4 年第 2 回定例会（6 月議会）でも質問し、答弁を頂きましたが、「乳幼児期の子育て世帯に対する経済的支援を目的に、令和 4 年 7 月から本年 3 月までの 9 ヶ月間小学校就学前の子ども 1 人につき月額 5,000 円を支給する」とのことでした。①と同様に、令和 5 年度にこの支援がゼロにならないような対策が必要ではないかと思いますが、考えを伺います。</p> <p>③ 副食費の減免基準のうち、多子減免については、第 3 子以降の子どもがいる世帯に条件を設けている点について、公平性の観点から見直すべき課題であるということから「大分県市長会に副食費にかかる多子減免の算定基準を見直すよう要請する」と答弁されましたが、その後の進捗状況を伺います。</p>	市長	

<p>2 市内の企業の現状と将来について</p>	<p>市内の企業の現状と将来について伺います。</p> <p>① 本市発行の「豊後大野市企業ガイドブック2022」によりますと、掲載企業が21社でありましたが、昨年10月末に千歳町のKBツヅキ株式会社大分工場が閉鎖されました。現地に勤務されていた20数名の方は、退職や再就職を余儀なくされたようです。紡績原材料の高騰等で操業が厳しくなったと伺いました。そこで、他の20社について、市民の雇用人数や勤務条件等の現状把握をされているか伺います。また、市にとっては企業があることにより、市民の働く場の確保、法人市民税の収入といった利点があります。ガイドブックに掲載されていない企業もあるようですが、掲載基準はどのようにされているか伺います。</p> <p>② 企業誘致についてはどのように考えているか、また、誘致活動についての取組を伺います。</p>	<p>市長</p>	

7番 後藤 雅克 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
豊後大野市スポーツ施設の整備等について	<p>2021年4月川野市長が市長選挙で無投票当選を果たされ、新聞紙面にて2期目に臨む意気込みを語られていました。その中で、「スポーツツーリズムの推進については、雨天時でも使える全天候型体育施設を新たに作る。大型遊具を備えた広場を整備し、子供たちが心身ともに健康に育つ環境を整える。」といった内容が掲載されていました。</p> <p>大型複合遊具施設は、昨年3月末に完成し、市内外よりたくさんの子供が遊びに来て非常に好評を得ております。また、全天候型体育施設についても、本年3月末の完成に向け、最終段階に入っている状況と伺っています。</p> <p>また、「豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本構想」を踏まえた基本計画を策定した中で、三重町大原地区に武道場の建設も計画されています。昨年の12月議会でも土地の購入予算が採決され、事業が本格的にスタートしたと理解しております。</p> <p>そこで、多機能型武道場、全天候型体育施設等について下記の項目を伺います。</p> <p>① 多機能型武道場建設の進捗状態について。</p> <p>② 多機能型武道場の規模、施設内容について。</p> <p>③ 全天候型体育施設の運営方法、利用規定等について。</p>	教育長	

- | | | |
|--|--|--|
| <p>④ 全天候型体育施設の備品等について。</p> <p>⑤ その他、ランニング・ウォーキングコース整備、三重野球場機能改修等の周辺整備計画について。</p> <p>⑥ ネーミングライツの導入について。</p> | | |
|--|--|--|

3番 高野 辰代 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 認知症による 行方不明への備 えと対応につい て	<p>認知症の症状により、今いる場所や行きたい場所の把握が難しい場合、関係機関の協力を得て早期に発見・保護し、家族の精神的負担軽減等を図る「徘徊高齢者等 SOS ネットワーク」について伺う。</p> <p>① 事業の流れと登録者数について。</p> <p>② 協力機関について。</p> <p>③ 位置情報提供サービスについて。</p>	市長	
2 防災対策の充 実について	<p>万が一のときに備えての防災対策は、安心な暮らしにつながるが、当市の防災備蓄品や自主避難先としての地区公民館について伺う。</p> <p>① 防災備蓄品についての計画はあるのか。</p> <p>② 消費期限のある備蓄品についての活用予定について。</p> <p>③ 自主避難先としての地区公民館の活用の現状について。</p>	市長	
3 豊後大野市関 係人口マッチン グサイト「ボラ ホリぶんごおお の」について	<p>市外在住の豊後大野市出身者等と地域をつなぎ、担い手不足の地域の課題解決や伝統文化保全等の取組に対し助成する「ボラホリぶんごおおの」について伺う。</p> <p>① 事業の概要について。</p> <p>② 事業の周知と利用状況について。</p>	市長	

--	--	--	--

6番 原田 健蔵 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 令和5年度施政方針並びに予算編成について	<p>① 市長2期目の折り返し点を迎え、この2年間の総括と今後の施政方針について。</p> <p>② 令和5年度新規事業「多機能型武道場」建設、JR三重町駅駅舎改修に伴う「観光交流センター」の概要とタイムスケジュールについて。</p> <p>③ 「公共施設等総合管理計画」に沿った令和5年度の実施内容について。</p>	市長	
2 福祉施策「重層的支援体制」整備事業について	<p>① 重層的支援体制整備事業は、市役所内の関係部署並びに市役所外の関係団体の連携体制をこれまでどのように構築し、住民の「支え合い」と公共の役割をいかに推進してきたか。</p> <p>② コロナ禍で生活環境が変化する中で、生活上の様々な課題を抱える市民が、適切な支援施策にたどり着き支援を得る上で、どのような効果・成果が見込まれるのか。</p> <p>③ 「豊後大野市居住支援協議会」との関連性は。</p>	市長	
3 防災士養成事業について	<p>民間資格である防災士の取得促進について。</p> <p>① 本市の考え方は。</p>	市長	

	<ul style="list-style-type: none"> ② 現在の登録状況。 ③ 今後の課題について。 		
4 ふるさと納税について	<ul style="list-style-type: none"> ① 最近5年間のふるさと納税寄付額の実績は。 ② 令和3年度の寄付額から返礼品の経費を差し引いた金額はかほどの黒字だったのか。併せて今年度の見通しについて。 ③ ふるさと納税寄附控除額にかかるワンストップ特例の申請を受けられている人数と控除額は。 ④ トラブル等の発生状況とその処置について。 ⑤ 人気返礼品ベスト3は。 ⑥ 今後の課題について。 	市長	

9 番 吉藤 里美 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 本市における認知症施策について	<p>我が国において 2012（平成 24）年での認知症の人の数は約 462 万人、軽度認知障害の人の数は約 400 万人と推計され、合わせると 65 歳以上高齢者の約 4 人に 1 人が認知症の人又はその予備軍と言われていました。2018（平成 30）年には認知症の人の数は 500 万人を超え、高齢者の約 7 人に 1 人が認知症と見込まれており、今や誰もが関わる可能性のある身近な病気です。</p> <p>また、認知症またはその疑いが原因だった行方不明者は 2021 年（令和 3 年）に過去最高の延べ 17,636 人と、2012 年に統計を取り始めてから 9 年連続の増加で、2012 年との比較で 1.8 倍になったと警察庁がまとめています。</p> <p>令和元年 6 月に「共生」と「予防」を施策の柱とした「認知症施策推進大綱」が閣議決定され、本市においては、令和 3 年 3 月に「豊後大野市老人福祉計画及び第 8 期介護保険事業計画」が策定され、高齢者福祉施策が行われています。</p> <p>以下の項目について伺います。</p> <p>① 本市における認知症の現状について。</p> <p>② 事業等の利用状況について。</p> <p>③ 地域の見守り体制について。</p> <p>④ 課題と今後の求められる対策について。</p>	市長	

<p>2 スポーツの推進について</p>	<p>本市においてはスポーツの振興やスポーツツーリズム推進のため、既存の体育施設の改修とあわせ、全天候型体育施設がまもなく完成予定であり、また、多機能型武道場の整備が進められているところです。市民のみなさんが利用できるスポーツ施設の充実は喜ばしいことですが、果たしてどのくらいの利用があるのか若干の不安も感じているところです。</p> <p>2018年に教育委員会が行ったアンケートでは、週に1日以上運動やスポーツをする人の割合は、70歳代の44%、60歳代が37.6%、50歳代から30歳代は20%ちょっと、20歳代は15%と若い人ほど運動していない状況がありました。一方、本市の国民健康保険第2期データヘルス計画書では、特定健診受診者のうち、運動不足や食べ過ぎなどが原因となることが多いメタボリックシンドローム及びその予備群の割合は、大分県よりも高い数値となっています。また、40歳代の男性はBMI（肥満度）と腹囲の有所見者の割合が突出しています。</p> <p>現役世代からの運動習慣が重要なことは皆さん承知されていると思いますが、始めるきっかけが必要だと思います。高齢になっても健康でいるためにはスポーツの推進は大変重要なことと考えます。</p> <p>また、スポーツ人口の減少とともに、種目によっては審判員の減少と高齢化で困っている状況があると聞いています。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>① スポーツイベント（教室）の開催などスポーツに親しむ機会の提供状況について。</p>	市長	
----------------------	---	----	--

	<p>② 総合型スポーツクラブや地区スポーツ振興会との連携について。</p> <p>③ スポーツ推進委員の活動の状況等について。</p> <p>④ 審判員を増やすために、市として何らかの手立ては考えられませんか。</p>		
--	--	--	--

1 番 川野 辰徳 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
農業について	<p>昨年の 12 月定例会の一般質問で、農業について経営の面、特に経費の部分を具体的に発言しましたが、昨今の急激な物価高騰に比例して農業資材の高騰も農家にとっては大きな課題となっています。</p> <p>そこで、農家を守っていく具体的な支援策・補助策について伺います。</p>	市長	

12番 赤峰 映洋 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1 コミュニティバスについて	<p>① 本市のコミュニティバスは、買い物や病院への通院等高齢者や運転免許証を持っていない人が気軽に利用できる状況にあるのか。</p> <p>② コロナ禍における本市の公共交通の利用実態と、アフターコロナを見据えた持続可能な公共交通についてどのように考えているのか。</p> <p>③ 利便性向上と利用者増加のため、どのように市民の声を調査しているのか。</p>	市長	
2 安心・安全な道路の維持管理について	<p>道路は住民生活を支える最も普遍的で基礎的な社会資本であり、社会・経済を支える上で重要な役割を担っています。</p> <p>本市で管理する道路は、現在1,778路線あると伺っていますが、台風等の災害により、道路舗装の陥没や法面の崩壊による路面への土砂の流出等、地域から様々な要望が寄せられていると思います。</p> <p>道路法においても、道路管理者の道路の維持・修繕義務を定めており、維持については、清掃・除草・除雪その他道路の機能を維持するために必要な措置を講ずることとされています。</p> <p>そこで本市における道路の維持管理の現状について伺います。</p>	市長	
3 給食費の保護	本市はコロナ禍において、物価高騰対策	教育長	

者負担減について	<p>として保護者の負担軽減を図るため、本年度に限り、7月から3月まで小中学校の保護者が負担する給食費の支援を行い、また小学校就学前の子供を持つ保護者には、給食費に相当する金額を給付する補正予算を組みました。</p> <p>この負担軽減策は本年度限りで終わらせるのか、続けるのか、また給食費の完全無償化の考えはないのかを伺います。</p>		
----------	---	--	--

17番 田嶋 栄一 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
<p>スポーツツーリズムの推進について</p>	<p>本市では、豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画を基に、三重総合グラウンド周辺及び関連施設を「総合スポーツ施設」の拠点として整備を進めている。全天候型体育施設は間もなく完成し、多機能型武道場についても用地取得の見通しがついたようである。当地には公園の遊具も含めると多額の予算を投資している。さらに、計画によると今後施設周辺にはランニング・ウォーキングコースも整備されることになっている。</p> <p>については、これらの施設を活用したスポーツツーリズム推進の展望について伺う。</p> <p>① 全天候型体育施設がスポーツツーリズムの核として機能するには、誘致した団体にとって効果的かつ継続的に利用可能な施設とすることが重要だと考えるが、その対策は。</p> <p>② スポーツ施設の整備に関する検討委員会の構成課は、それぞれどのような役割を果たしているのか。</p> <p>③ スポーツコミッションとは具体的にどのような組織か。</p> <p>④ 人口減少やコロナ禍で低迷する地域経済の活性化を図るとしているが、具体的にはどのような活性化策を講じる計画か。</p>	市長	

	⑤ スポーツツーリズムを地域づくりにどのように結び付けていくのか。		
--	-----------------------------------	--	--

5番 春野 慶司 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1 公文書管理条例の制定について	<p>公文書管理制度は、情報公開制度が健全に運用されるためにかかせない制度です。ところが全国ほとんどの自治体では、情報公開条例は制定されていますが、公文書管理は条例でなく、規程や規則にとどまっています。本市も規程ですが、その内容は内部完結的な色合いの濃いものとなっています。条例化されている自治体の条文中には、文書ファイル管理簿の作成や、管理状況の報告「〇〇条 市長以外の実施機関は、毎年度公文書の管理の状況について市長に報告しなければならない。〇〇条第2項 市長は毎年度、実施機関における公文書の管理の状況を取りまとめ、その概要を公表しなければならない。」との条文があります。</p> <p>条例化することにより、①議会が関与することになること、②運用状況が公表されること、は市民の知る権利を保障する上でも、大変意味ある条例制定になると思います。県内（大分県を含む）自治体の先駆けとなる考えはおありでしょうか。</p>	市長	
2 下水道の受益者負担の公平性について	<p>本市の下水道会計は、①公共下水道特別会計、②農業集落排水特別会計、③浄化槽施設特別会計及び④個人設置の合併処理浄化槽があります。①、②、③の経費回収率（汚水処理に要した費用等に対する使用料による回収程度）が令和2年度の数字ではそれぞれ74.84%、65.06%、68.52%です。この数字は100%に満たない分は公金で補われていることを表わしています。</p>	市長	

	<p>一方、利用人口が 17,216 人（R4 年 3 月現在）と人口の半分以上を占める④には、当然ながら公金は入っていません。①、②、③にも若干の不公平感はありますが許容範囲でしょう。しかしながら、①、②、③と④には大きな不公平があります。不公平を正す方法としては、①、②、③の経費回収率を 100%にするか、④に①、②、③と同率の補助をするかしかありませんが、不公平を是正する考えはおありでしょうか。もしくは「現状でも斯斯然々こういう理由で実は現状でも不公平ではありません。」という納得いく理論があればご説明ください。</p>		
<p>3 所有者不明土地法、正式な法律名称は「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」による所有者不明土地等対策事業への取組について</p>	<p>この法律は平成 30 年に制定され、何度かの改正を重ね、令和 4 年 11 月 1 日に本格運用となりました。所有者不明土地は、2016 年現在で 410 万ヘクタールと推計されています。これは九州の面積(367 万ヘクタール)よりも広い面積です。国交省の作成した法律の概要、支援措置、円滑化のための制度など細かく整備されており、国交省の本気度が伝わってきます。支援制度の一端を紹介しますと、所有者不明土地対策事業の施行者は地方公共団体及び推進法人ですが、ここでは推進法人については触れません。補助金は国が 2 分の 1，地方公共団体が 2 分の 1 で、地方公共団体の負担分については、その 2 分の 1 を特別交付税で措置されます。補助対象となる事業は、①土地に関する実態把握、②所有者の探索や土地の利活用のための手法等の検討、③土地の管理不全状態の解消となっています。</p> <p>実質的には、令和 4 年 11 月にスタートした制度ですので、県下ではまだどこも取組</p>	<p>市長</p>	

	<p>んでいませんが、所有者不明土地は、公共事業等における支障となっており、今後も更に増加が見込まれ、利用の円滑化と管理の適正化は喫緊の課題です。他市町村に先駆けて取り組むことを提案いたします。</p>		
--	---	--	--